

科目名	健康生活看護学実習(小児)			ナンバリング	PEN451	授業形態	実習
対象学年	3 年	開講時期	前期・後期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	レンデンマン美智子	担当教員					

授業の概要	小児看護がおこなわれている現場に臨み、小児看護の対象および小児看護における看護職の役割について体験的に学修し、小児看護の対象に対する看護実践能力を身に付ける。成長発達する子どもとその家族の健康生活、ニーズや健康課題を理解し、子どもの成長発達や健康状態に適した看護実践のあり方を学修する。特に、子どもや家族が相互に影響しあうことを考慮した看護の重要性について理解を深める。また、病気とともに生活する子どもの成長発達や健康状態に適した看護について学ぶ。						
到達目標	①健康状態ならびに疾患・治療から患児および家族をアセスメントし、必要度の高い看護問題を立案し、適切な援助を実践できる。 ②成長発達・日常生活から患児および家族をアセスメントし、必要度の高い看護問題を立案し、適切な援助を実践できる。 ③家族・社会の側面から患児および家族をアセスメントし、必要度の高い看護問題を立案し、適切な援助を実践できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	生涯発達看護学(小児)、健康生活看護学(小児概論)、健康生活看護学(小児援助)の復習						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	○	2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
	○	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
小児看護学実習において、看護過程を助言を受けながら展開することができる。	主体的に小児看護学実習に参加し、看護過程を展開することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
病棟実習	○	○	○	○	○		80%
保育園実習	○	○	○	○	○		20%

課題、評価のフィードバック	
---------------	--

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	保育園実習 病棟実習ガイダンス	実習施設のオリエンテーション	
	第2回	保育園実習	健康児の成長・発達を学ぶ	
	第3回	保育園実習	上に同じ	
	第4回	病棟実習(看護過程の展開①)	受け持ち患者の情報収集・看護過程の展開	
	第5回	病棟実習(看護過程の展開②)	上に同じ	
	第6回	病棟実習(看護過程の展開③)	上に同じ	
	第7回	病棟実習(看護過程の展開④)	上に同じ	
	第8回	病棟実習(看護過程の展開⑤)	上に同じ	
	第9回	病棟実習(看護過程の展開⑥)	上に同じ	
	第10回	実習のまとめ・個人面接	実習の反省、学びの評価	
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験			
授業の進め方		保育園および病棟での実習		
授業外学習の指示		(授業外学習時間： 毎週 分)		

教科書	メディカ出版「小児看護学」
参考書	医学書院「小児看護学概論」「小児看護学各論」
参考URLなど	
その他	評価配分は、ルーブリック評価(病棟実習)80%、保育園実習20%とする。

保育園実習に関する評価

学籍番号： _____ 氏名： _____

1. 子どものコミュニケーション能力、言語能力や表現力について理解することができる。

10	8	5	3	1	理由

2. 子どもの生活習慣の現状を理解し、必要な支援について理解することができる。

10	8	5	3	1	理由

3. 子どもの遊びと子どもにとっての意味を考えることができる。

10	8	5	3	1	理由

4. 子どもの安全を守るための環境や支援について理解することができる。

10	8	5	3	1	理由

5. 保育に参加する上で、子どもの発達段階や気持ちを考慮しながら接することができる。

10	8	5	3	1	理由

6. 子どもに関わる際に必要時には援助を求めながら、子どもに誠実な態度で接することができる。

10	8	5	3	1	理由

7. 子どもの身体的成長を理解することができる。

10	8	5	3	1	理由

8. 子どもの運動能力（粗大運動・微細運動）を理解することができる。

10	8	5	3	1	理由